横芝町農林審議会が発足

農業の近代化にそなえて

農業基本法にも見られるように、これからの農業経営も時勢の大きな流れに順応すべく、色々と問題をかかえております。本町でも時代にあった農業経営をすすめるため、農業問題全般を審議研究する機関として農林審議会が設立されました。この会は議会や農業委員会などから町長が委嘱した十三名の委員で構成されております。

去る十一月二十二日に第一回目の会合を開き、役員、規約などを決め、これからの活動を期しております。委員及役員は次のとおり

括弧内は選出母体、◎委員長
○副委員長

川島義雄（町議会）
○伊藤右仲（〃）
斎藤元一（〃）
○河井　昇（農業委員会）
小川文雄（〃）
鈴木利春（〃）
◎伊藤　操（農業協同組合）
川島峯一郎（〃）
渡辺勘夫（漁業協同組合）
浅野　浩（農業共済組合）
吉岡　豊（森林組合）
市原利清（学識経験者）

たばこ

「たばこ」の由来は、よく知らないが、その昔とこやらの土人が枯葉を集めて焚火をしていたら、おつな香りが漂ってきたのに興味をもって隣人達に話したのに端を発し、それからそれへと伝えられ、煙草の焚火をすることが、来客を接待するときの礼儀ときえなったそうである。

一人の土人のちょっとした思いつきから、全人類の嗜好品の一つとして、違々千何百年来このかた、多くの人々に愛用されているのだが、煙草は切っても切れない「火」と共に毎日の生活の中にとけ込んでいることを、別に不思議に思はないことが不思議である。

高等動物と云い、万物の霊長と自任している人類は、ただ生きているとだけでなく、生活に変化をもたせて楽しむことを知っているところをみると、やっぱり他の動物とくらべて確に智恵がまさっている。

外国と云っても中国のほかは知らないがあちらでは、「たばこ」の製造販売は民間事業の一つであり、企業としては中以上の位置を占めているものが多いようである。

ところが、大企業の部類に属するものは別として、小の部類の製造工程を見ているとがっかりするが、小手先と口先の器用なところは見ものである。

一人は、適度に乾燥した葉煙草を両手にとってハラハラと振り落す。別の一人は朱色の液体の入った「ドンブリ」を持って前に立ち、その液体を口に含んで構えるのである。

相手がハラハラと落すのへ間髪を入れずにブーツ、ブーツと葉っぱをめがけて吹きつける。その形相たるや安達ケ原の鬼婆アさながらの感がある。それを「リズミカル」に繰り返すのだから、まさに一つの演技とも云えると思われる。

次の工程は、店先にずらりと並んだ「締機」の間に、三〇糎位の厚さに重ねて挟んだ葉煙草を堅く締つける。

そのこぐちを五〇糎程の「カンナ」で削るとたちどころに「キザミ煙草」と早変りして、商品として名実共に直売する。

また、路上に落ちている吸いがらを拾集してこれをほし、巻きなおしてばら売りしているのを各処で見たが、さぞかし奇妙な味わいであろうと思われた。

なお再製品でないものにも問題がある。あちらの煙草の上等品には「アヘン」を添加したものがあったそうだ。

知らないことは云いながらうっかり喫っていたものもの心配ない由だから安心である。

云うまでもないことだが、吾が国では専売品であり、その専売益金は、この上ない、国の財源である。

食後の一服と仕事のあいまの一服は、気分転換と疲労恢復に役だって、次の仕事を進めるための「エネルギー」となることは、衆人の認めるところである。

ところで、この煙草が町の財政に大きな関係があるのである。それは「たばこやさん」の売上の一割一分に当る金額が、専売公社から「たばこ消費税」として「たばこやさん」の所在する町村役場へ納付されてくるからである。

ここ三年間に当町へ納付された実績をみると、三十三年度が三八一万円、三十四年度が四一四万円、三十五年度には四三四万円也と、年毎に上昇していることは喜ばしいことである。

ただ何んとなく求める「たばこ」にも、このような身近な関係があることをお知らせする。

ちょっとした心掛一つで町の財政を豊にすることができるのだから「たばこ」はどうぞ横芝でとあえて「たばこ」やさんのお太鼓をたたく次第である。

工費六十七万円で

塵芥焼却炉の設置決る

去る十一月ころ、旧横芝隔離病舎のそばに簡易塵芥焼却炉設置のための追加予算が認められました。

本町の市街地帯も発展するに従い、各家庭では排出する塵芥の処理に困るようになっており、衛生上からも色々と問題がありました。現在のところ、ゴミ捨場があり、これを利用しておりますが、これは恐ろしく前時代的なもので無秩序に塵芥が散乱しており、甚だ体裁の良いものではありません。今度出来る焼却炉は施設費に約六十七万円を予定し、処理能力も一日当り約二屯の簡易なもので設置場所を目下選定中です。工事は本年度一杯に完成し、来年四月操業の予定になっております。

炉の運営についても、皆さんが利用し易い、効果的なものとなるよう当局で検討を重ねております。

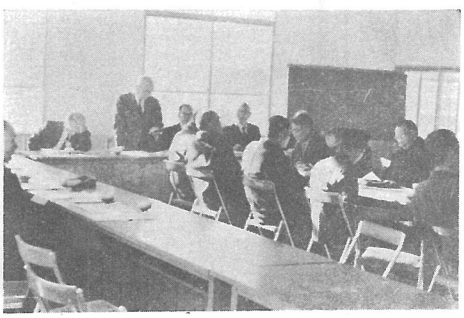
区長会議開催される

町政に理解と協力を

町の行政事務の最先端を担当して頂いている区長さんの、日頃の御苦労は、誠に大きいものがあると思います。昭和三十六年も暮れようとする、十二月二十二日午後二時から、昭和三十六年最後の区長会議が開かれました。町からは三役　各課長が、出席区長も船と全員が出席して、開会、町長から三十六年の事業経過及び三十七年の事業計画を説明して、今後一層の協力を求めました。

区長側から水稲直播栽培の指導助成、けえ、か駆除剤の補助費増額等について要望があり、町側も善処する旨、解答がありました。

最後に区長側から町との連けいを密にするため、会議の開催回数の増加の要望があって、有意義に終了しました。



区長会議

声のひろば

今月広報横芝第一号が配付されまして拝見致しました。記事中に納税組合のことが詳しくでておりましたので、私等の五年前から実行しております組合のことを、記してみました。私等の日掛貯金は、納税組合と申すものではありませんが、それに近いものです。昭和三十一年の暮に皆で相談して、隣近所の親睦もかねて、日掛貯金を始めることになりました。

それと申すのは、みんな主人は朝から工場に行商に、そして家内は農家の手間稼ぎに、或は土方仕事に、朝から働きにでて、ひるは不在勝の時が多いので月々の電灯料集金人がきたとき、支払ができないので、組合を作り皆んなのものを一軒でまとめて支払うらめ間に電灯料が払われて、一々集金日に料金のことを考えなくて働くことができるからと云うことで、一日十円宛（貯金箱に各自氏名を書いた穴のあいたもの）毎日順番に箱を持って廻る交替式にしまして、電灯料集金日の前日に当番に当った家で、次の日の当番の家とで、立会って開箱し、各自の貯金額をメモに記入して現金と共に会計当番に渡し、集金日に六軒分を一ケ所で支払い、残金は会計が保管することに致しました。

其のため集金の方も喜んで呉れております。

始めたのは昭和三十二年一月からです。次年度三十三年一月からは二十円に増額しました。電灯料の外に、地代、国民健康保険税等もまとめて納入することに致しました。

（そのため婦人会の役員の方も喜んでおります）その外ラジオの聴取料等も組合員の中出によって払います（中略）私等の組合は、今のところ余り大きな額の日掛も実行困難です。それだから、なおさら少額づつの日掛でも実行する必要があるのです。一軒一軒では毎日できぬことですが、六人の道連があるので、いやおうなしに、いくらかでも入れぬと、申訳がない様な気がして続けております。

発表する程の実績も挙っておりませんが、町の片すみに、こんな小さな集りがあるということを御報告申し上げ、その後とも、たゆまず牛歩ながら実行してゆきたいと存じております。（後略）

日掛貯金組合　東雲会

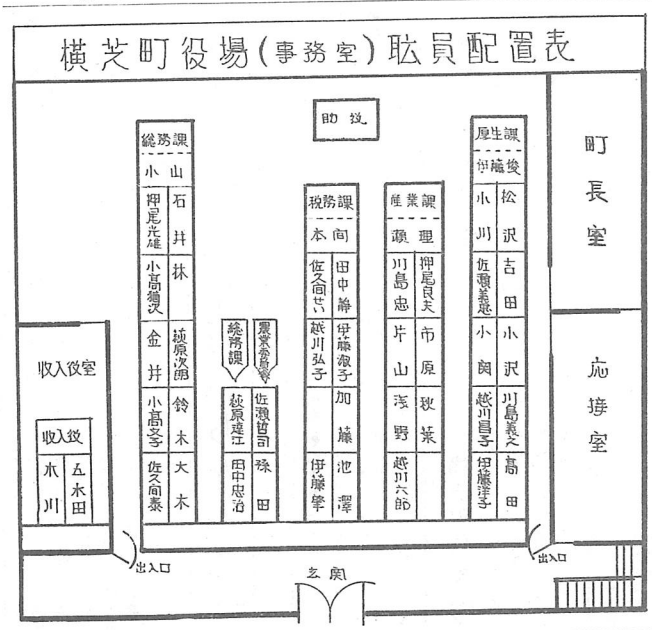
海岸の東雲会の会員の方からこのような御報告を頂きました。誠に結構な御趣旨だと思います。こんごとも会が、益々発展されるよう御努力をお願いします。

なお、これからも、皆さまの御意見や御報告がありましたら、この「声のひろば」にどしどし掲載して参りたいと思います。

お待ちしております。

役場職員は〈この位置〉で執務しています

役場に不案内の方が、突然お出でになっても、気軽に御用件がたせるように、本庁舎事務室の職員配置図をお知らせいたします



編集後記

皆さまあけまして、おめでとうございます。編集子も心から新春の御祝詞を申し上げます。

本紙も漸く二号を迎えたばかりで、子供ならば赤ん坊の時代で、海のものとも山のものともつきません。本年のえとにちなんで、寅のように強く猛ましく成長できるよう相変らずの御支援をお願いいたします。

有線の新規加入は？

新規加入申込は何時でも受け付けております。

加入金は六千五百円で、申込と同時に千円納入して頂き、あとは工事完了と同時に納入して頂きます。

ただし、前記の金額を著しく超過する工事費を要するときは、超過分の実費も頂きます。